

第43回

環境プラザ

題字／岡山市長 大森 雅夫



ごあいさつ 岡山市長 大森 雅夫

市民の皆様には、半素から、環境衛生分野をはじめ、市政各般の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、岡山市環境衛生連合協議会におかれましては、「岡山市を美しくする環境美化クリーン作戦」や「おかやまりサイクル工作コンクール」をはじめ、環境保全等を目的とした様々な活動を通じて、地域の快適な生活環境づくりに多大なご尽力をいただいておりますことに、改めて深く敬意と感謝の意を表する次第です。

さて、岡山市では今年度から、ごみ（し尿）に関する受付・相談などの総合窓口となるごみ対策班を各区役所（東区を除く）への設置や、東区役所総務・地域振興課へは担当職員を配置し、西大寺事業所との連携強化することによって市民・事業者の皆様の利便性の向上を図ってきたところです。

岡山市では、今後とも、市民・事業者の皆様と協働して、ごみのリサイクルや地球温暖化対策など、持続可能な循環型社会の実現に向けた取組を着実に進めてまいる所存です。皆様方におかれましては、誰もが安全・安心に住み続けられるまちの実現に向けて、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、岡山市環境衛生連合協議会のさらなるご発展並びに皆様方のますますのご健勝とご多幸を、心から祈念申し上げます。



ごあいさつ 岡山市環境衛生連合協議会 会長 室田 勉

平成30年新春を迎えられ、各位におかれましては益々、ご清栄のこととお慶び申し上げます。市民の皆様方には、岡山市を美しくする環境美化クリーン作戦、岡山市一円の地域清掃活動にご理解とご協力をいただいていることに心から感謝申し上げます。

私儀、去る平成29年度の定例総会において、岡山市環境衛生連合協議会会长という大役を拝命いたしました。皆様方のご指導とご協力をいただき、環境美化と資源循環型社会構築を目的として地域清掃・リサイクルの推進・環境保全などの活動にしっかりと取り組んで推進していきたいと思います。

昭和52年から地区環境衛生協議会理事として、今までごみ問題に取り組んでまいりましたが、時代の変化と生活様式の多様化等により、ごみの種類や量が違ってまいりました。当初はビン拾いカン拾いとは言っていませんでした。当初は、伝染病対策や公衆衛生活動等に主眼をおいての活動でしたが、近年になっては、社会環境の変動により、ごみ・環境保全までも含めて生活環境に関わる総合的な活動の展開が必要になり、現在では、環境美化と資源循環型社会構築を目的として地域清掃・リサイクルの推進・環境保全などが主な活動となっております。

循環型社会の原則は、

- ①自然ごみは自然に返す。 ②人工ごみは極力削減する。

家庭から出る生ごみは、堆肥化して畑に戻す。まさしく生ごみは、燃やせばごみ、土に返せば“宝”なのだということを「ごみゼロ作戦」で訴えていきたいと思っています。市民の皆様方には、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

発行人
岡山市環境衛生連合協議会
会長 室田 勉
編集
岡山市環境衛生連合協議会事務局
TEL.086(803)1297

回
覧

平成29年度備前ブロック民間指導者研修会に参加して

福山地区環境衛生協議会

木 内 節 夫

秋たけなわの10月、研修会に参加した。

各表彰受賞者に拍手！表彰終了後、ジャーナリストの曾根英二氏による「豊かな島を再び～産廃と闘った香川県豊島～」という講演があった。少しは報道等で水知しているつもりであったが、詳細な報道特集の映像やお話に、思わず身構えた。豊島の凄まじいばかりの光景に、今更ながら息を飲む思いであった。長年に渡る同氏の取材報道、そして島民の闘い・心情はいかばかりであったかと、今まで文字通り「対岸の火事」と軽視していた自身を恥じ入るばかりであった。捨てる・汚すは一瞬であるけれど、元の状態に戻すことは膨大な費用と気の遠くなるような年月が必要となることを、肝に銘じなければならぬと改めて痛感した。これからも、地区の環境衛生に対し、真摯に取り組まなければとの思いを強くした有意義な講演・研修の一日であった。



地域のきずなを高める、二つのメイン催し

操明学区環境衛生協議会

森 安 創

私たちの住んでいる岡山市操明学区は、児島湾と旭川、百間川に囲まれた海拔0メートルの低地帯です。春は、十手のオーナー桜・菜の花・つくし、通年の草花、又は、河川の野鳥観察などが楽しめる風景に恵まれた、住み良い安全・安心意識の高い融和な地域です。

こうした地域で、環境衛生協議会活動の一端をご披露いたします。

まず、毎年8月15日に行われます「精霊流し」は、お盆に各ご家庭でお供えになった沢山の供え物を粗末にならないよう、市の排水場の一角をお借りして集積し、お経を唱え丁重に取り扱って、指定業者さんへ処理をお願いしているものです。20年以上継続されている恒例行事で、老若男女7～800人ほどの人々がローソクと線香で精霊への崇拝の気持ちをあらわしているのです。

次は、毎年12月の第一日曜日に「ふれあいクリーン作戦」が行われます。新たな地域の交流と融和政策を創ろうとの願いからクリーン作戦が生まれました。岡山ふれあいロードとなっている百間川沿いの上手には、燃える燃えない不法投棄ごみがひどく、ごみ拾い作戦が始まりました。幼小中学生、先生、各PTAの人、老人会各種団体、交通警察関係の人、地元企業など多くの方々が参加されています。ごみ収集作業の後は、景品狙いグランドダーツゲームやも

てなし班のぜんざい・お茶サービスで人々の融和と交流が進み、16年間も続いている催しとなっています。

こうした人気行事等を持続し支えている皆さんをご紹介します。メンバーは環境衛生協議会役員と委員49名です。27単位町内会から推薦された委員さん32名と協議会長、副会長6名、理事6名、会計、監事で組織しています。年間で全員総会1回、役員・委員会議やミーティング6回程度開催し、年間行事の計画実施、環境パトロール、啓発のぼり旗交換などの活動実施と併せ全員参加で行っています。学区内の落書きについては、会員が落書き消去隊を結成して以来3回の出動で学区内の落書きは0で、維持しています。

当協議会の年間活動の様子は、操明学区ホームページでもご覧いただけます。



なださきホタルの会が「自然環境保護活動を通じて地域づくり」を紹介します。

灘崎地区環境衛生協議会

会長 今 中 慶 一

平成29年に発足しました「ホタルの会」は灘崎を代表する岡山市最南端のホタル生息地であり、「身近な生き物の里」として岡山市から指定を受け、なださき公民館環境部会が中心となり会員募集し、今では115名の会員で奥迫川・迫川地区のホタルの生息環境を整備し、保護するために、①ホタルロードの清掃活動(H29.8.20)②カンパンの設置③ウォッキング会(H29.6.4)④学習会(H30.3下旬)⑤会員バッチ作成などすばらしい自然をみんなの力をあわせて守り続けようとしています。当協会も支援させていただいているところです。

さらに私たちの町では「岡山市を美しくする環境美化クリーン作戦」に9月24日からは4,192名が参加して清掃活動、12月14日には灘崎中学校生徒480名による町内一齊美化活動も5年以上継続中です。

また毎月20日には小学校の庭園やプール周辺草刈活動と、子供見守り隊による通学路清掃活動を行い、灘崎ファッショントウンづくりに寄与してくださっています。「道端におちているゴミをひろうのは、もっとも美しい姿である」



宇野学区環境衛生協議会便り

宇野学区環境衛生協議会

松本正志

私たちの宇野学区では、岡山市後楽園の東側、山陽本線、新幹線及び百間川の南側、操山山系の西側で21町内会です。以前は純農村地帯で野菜供給地帯でした。現在は、会社や社宅に加え、マンション等の高層建築が立ち、加えて住宅団地も次々と造成されてきて大型商業施設も多く進出して生活形態も変化した。公立施設も中央警察署、中区役所、郵便局等もあり、大学、高校もあり文教地区です。

本題です。祇園用水から枝分かれして何本かの側溝から川田川（全長470m）への汚水の流れ停滞して一時は悪臭で周囲からは苦情が出るような状態でしたが、岡山市に河川改良工事を申請し施工していただき、今は川床が（写真）のようになります。溝掃除（15年以前からの年1回で2町内会参加）もちょっと楽になりました。感謝しています。12月21日に掃除が完了し百間川へ流れています。



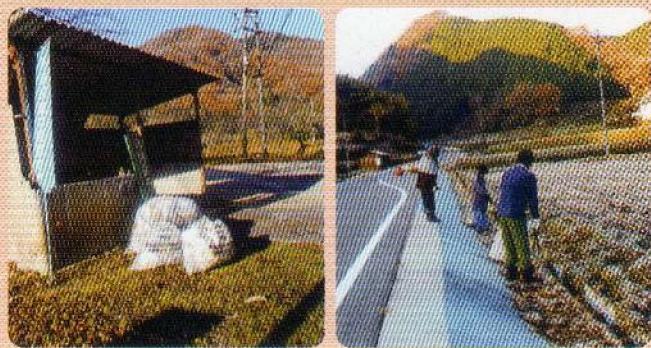
御津地区における2つのクリーン作戦

御津地区環境衛生協議会

2017年11月4日（土）午前8時から9時までの約1時間、御津工業団地企業連合会で、工業団地内のクリーン作戦を行った。このクリーン作戦は平成10年から毎年1回同時期に行われ、本年のクリーン作戦には土曜日で企業が休みのため、工業団地内企業から家族連れで163名の参加があり、盛り上がった。拾ったゴミは駐車場の一角に集められ、仕分けられた。本年は日進ゴム株技術開発センターの当番で、来年は工業団地内企業15社の持ち回り当番で行う。工業団地の外周のクリーン作戦で道路、側溝もきれいになります。気持ちよく歩けると評判になっている。



また、12月3日（日）午前8時30分から御津地区7地域でクリーン作戦が一斉に行われました。御津地区の国道、県道、市道及び河川沿線等を対象にクリーン作戦を実施。各種団体、地域住民が参加し、近年は若年層も増え、環境に关心を持ってもらえたと喜んでいます。今年度は総勢2,450人の参加があり、盛り上がりました。家庭からのゴミの持ち出しは厳禁として行われ、拾われたゴミは地区内の指定された7地域（牧山、宇垣、金川、宇甘東、宇甘西、五城、葛城）にゴミの回収場所が決まっており、それぞれの地域の環境衛生委員の指導で燃えるもの、燃えないものに分類され、岡山市のボランティア袋に入れて一ヶ月中に回収された。クリーン作戦は老人クラブも積極的に参加しており、90歳を過ぎた人たちも頑張っています。以前、県道、市道などの沿線では、車両の通行が多く、また人里離れた所には、空き缶、弁当がら、ペットボトルなどのゴミをポイ捨てる人が多く、ゴミ拾いに苦慮していましたが、最近はそれも少くなり、環境への关心の高まりが感じられます。源氏ボタルも飛び交うきれいな川、空気もおいしい人里、きれいな水で作ったおいしいお米、ゴミの少ない田園を目指し、地域住民で努力していきたいと思います。地域によっては高齢化が進み、ゴミを片付けられない人もおられると思います。岡山市の施設への持ち込みをみんなで協力して助けてあげましょう。



第43回 岡山市環境衛生大会開催



当協議会と岡山市の共催による第43回岡山市環境衛生大会が、去る1月30日、岡山市役所本庁舎7階大会議室で開催されました。

大会には各地区で環境衛生の改善に努めている代表者ら約100名が参加し、主催者である当協議会の室田会長と大森市長のあいさつ、及び、ご来賓として千間市議会環境消防水道委員会委員長のご祝辞の後、環境衛生改善活動に多大の功績のあった個人と団体に市長表彰状と当協議会長表彰状が贈呈されました。

統いて、「郷土岡山市がきれいな住みよい町となること及び、多様な自然環境と調和した豊かな暮らしを将来世代に引き継ぐ都市となることをめざし、環境衛生の改善と向上のため、力強い実践活動を続けていく」という大会宣言と、「美しい岡山市を健康で明るくきれいな住みよい町にするための実践活動」を盛り込んだ大会決議を全会一致で採択しました。

記念講演では、元岡山地方気象台調査官の林昭仁様から「岡山県の気候変動について」と題してお話をさせていただきました。

受賞者個人、団体は次のとおりです。(敬称略)

市長表彰（環境衛生改善事業功労）

▼個人▼

光田 邦雄(中区桑野) 岡崎 忍(東区幸西)
 雪本 卓司(南区妹尾) 池田 太郎(南区中畦)
 橋日 勝利(南区築港緑町一丁目) 野上 正史(北区横井上)
 成田 昌士(中区門田屋敷一丁目)
 久山 雅生(東区西大寺中三丁目)
 二宮万太郎(北区御津宇甘)

▼団体▼

栗井第一町内会(北区栗井)

人和町一丁目町内会(北区人和町一丁目)
 浅越山根町内会(東区浅越)

岡山市環境衛生連合協議会長表彰

▼個人▼

植田 彰(中区桑野) 近藤 源(東区上阿知)
 石井 洋司(東区九幡) 大寺 淳子(北区下足守)
 枝廣 政孝(南区中畦) 藤原 恭一(北区横井上)
 藤田 研三(北区大安寺南町二丁目)
 黒田 恒夫(北区下石井二丁目)

▼団体▼

上日近町内会(北区日近)
 株式会社エイト日本技術開発中国支社(北区津高)
 宿町内会(北区宿)

受賞者の皆様方、大変おめでとうございます。
 ますますのご活躍をお祈りします。

通 信

◎平成29年度 岡山市環境衛生連合協議会事業経過

- 平成29年4月25日
常任理事会開催(総会提出議案審議)
- 平成29年5月15日
総会開催
平成28年度事業報告及び決算承認
平成29年度事業計画及び予算承認
- 平成29年5月24日
県環境衛生協会定例総会に参加
- 平成29年7月~12月
第16回おかやまリサイクル工作コンクール実施
- 平成29年9月24日
「岡山市を美しくする環境美化クリーン作戦」
実施
- 平成29年10月18日
備前ブロック環境衛生民間指導者研修会開催
岡山ふれあいセンター(岡山市中区桑野)
- 平成30年1月30日
第43回岡山市環境衛生大会
- 平成30年3月
機関紙「環境プラザ」第43号発行
- 期間中
看板配布



ごみのポイ捨ては
やめましょ!

